復元ポイントを作成・確認できます

1. **スタート**を開き、検索欄に「復元ポイントの作成」と入力します
2. 検索結果の **「復元ポイントの作成」** を選びます
3. 「システムのプロパティ」が開いたら、**「システムの保護」**タブを表示します
4. 「保護設定」で、通常は **Windows（C:）** を選択します
5. **「作成」**をクリックします
6. 復元ポイントの名前を入力します　　例：「大型アップデート前」
7. **「作成」**をクリックします
8. 「復元ポイントは正常に作成されました」と表示されたら完了です

⚙️ 作成できない場合

「作成」ボタンが押せない、または保護が「無効」の場合は、先に有効化します

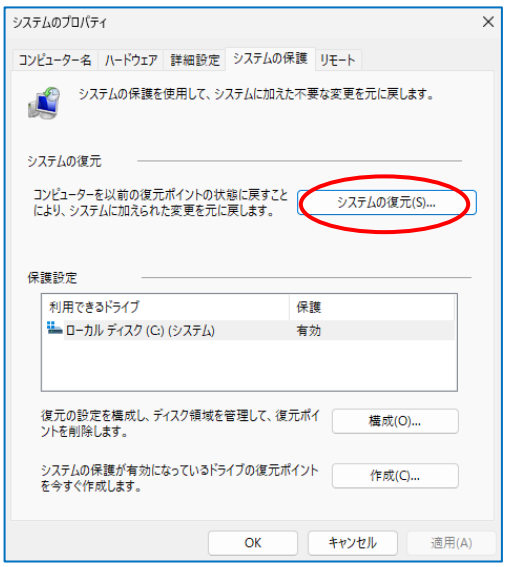
1. 「システムのプロパティ」の「システムの保護」タブで、Windows（C:）を選択します
2. **「構成」**をクリックします
3. **「システムの保護を有効にする」**を選びます
4. ディスク領域の使用量を設定します
5. **「適用」→「OK」**をクリックします
6. もう一度「作成」を選びます

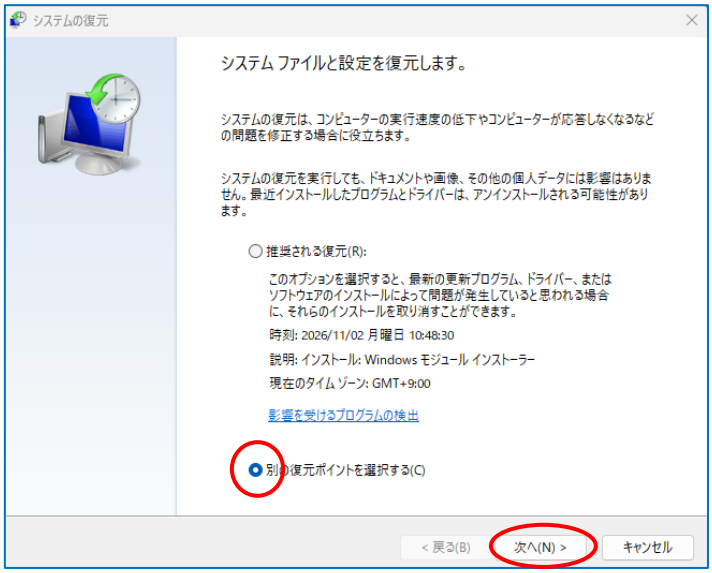
💡 注意点

復元ポイントは、主にシステムファイルや設定、インストール済みアプリなどを以前の状態に戻すためのものです。通常、個人の写真や文書のバックアップにはならないため、大切なファイルは別途バックアップして下さい。大型アップデートやドライバーの変更、新しいソフトのインストール前に作成しておくと安心です

🖥️ 確認手順

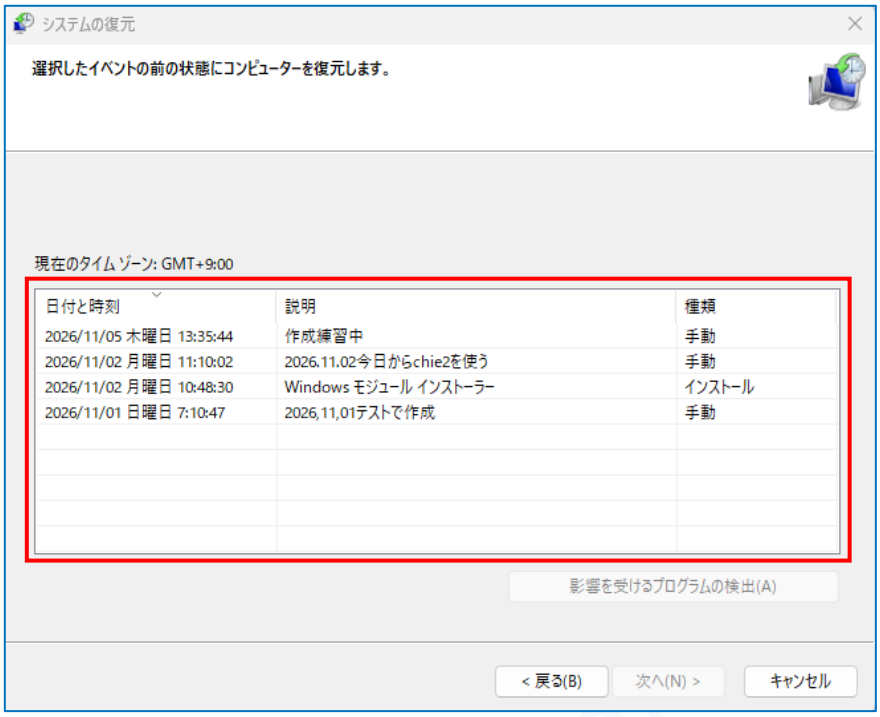
1. **スタート**を開き、「復元ポイントの作成」と検索します
2. **「復元ポイントの作成」**を開きます
3. **「システムのプロパティ」**画面で、**システムの復元**をクリックします





yaoc-chi

4. 「次へ」を押すと、利用可能な復元ポイントが一覧表示されます



5. 日付・時刻・説明を確認します。必要に応じて「**他の復元ポイントを表示する**」にチェックを入れます。復元を実行せず、一覧を確認するだけなら、最後に「キャンセル」を押してください。Microsoft の案内でも、復元ポイントの選択後に「影響を受けるプログラムのスキャン」で変更対象を確認できるとされています

⚙ 有効か確認

復元ポイントが表示されない場合は、次を確認してください

1. 「システムのプロパティ」で「**システムの保護**」タブを開きます
2. 「保護設定」の「Windows（C:）」を確認します
3. 「有効」と表示されていれば、システム保護は有効です
4. 「無効」の場合は「構成」から有効化できます

復元ポイントは、システム保護が有効なドライブで作成・管理されます

⚠ 注意点

システムの復元で戻るのは、主に **Windows の設定・システムファイル・インストール済みアプリ**です。通常、個人の写真や文書などは対象外です